

トコジラミの駆除方法

Q：最近トコジラミによる被害が増えていると聞きましたが？

A：最近、トコジラミ(ナンキンムシ)の発生、被害件数が増加しています。トコジラミは、戦前までは、ヒトの身近なところにいる一般的な害虫でしたが、戦後は殺虫剤の使用や生活環境の改善などにより、その数は激減し、被害も少なくなりました。しかし、近年、アメリカやヨーロッパ、オーストラリアなど世界中でまた増えてきており、問題となっています。日本でも、関東や関西の大都市を中心に保健所への相談件数が増えているようです。札幌市でも毎年相談が寄せられ、発生が確認されています。毎年、観光客など多くの人々が訪れており、今後、発生の増加が懸念されています。

トコジラミ

トコジラミは、別名ナンキンムシとも言います。名前はシラミですが、カメムシの仲間です。成虫は、体長5～8mm、色は茶褐色、体型は非常に扁平です。翅がないため飛ぶことはできませんが、非常にすばやく動きます。虫体から悪臭を発します。



トコジラミの成虫

文献1)より



成虫の側面は平たい

文献1)より

幼虫や成虫のエサは人間や動物の血液で、人やペットから吸血します。吸血後はその周りの寝具や家具の隙間に潜りこみます。メスは1日5-6個の卵を産み、2週間位で幼虫になり、1-2ヵ月で成虫になります。成虫は3-4ヵ月生きることができ、幼虫も成虫もメスもオスも吸血します。メスは生涯に200-500個も産卵するのでまたたく間に増加します。エサがなくても1年くらい生きていることがあり、長く空室になっていた部屋でも被害を受けることがあります。

トコジラミによる被害

夜間に活動して、就寝中に体に取りつき3-10分吸血します。特に手足、首など露出部分から吸血し、刺し口は複数見られます。初めて刺された人はかゆくなりませんが、何回か刺されるうちに体内に抗体が形成され、かゆくなります。アレルギー反応ですから、すぐにかゆくなる人と、1-3日してかゆくなる人がいます。激しいかゆみで不眠症、神経障害、発熱などの症状を起こすことがあります。

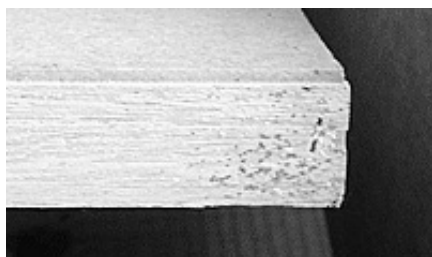
また、掻きすぎて皮膚に傷がつき、細菌による二次感染で傷口が化膿することもあります。症状には個人差があり、特に初めて刺された人は症状が出ないことがあり、発見の遅れにつながります。

現在、トコジラミが媒介する感染症は確認されていません。

どんな所にいるの？

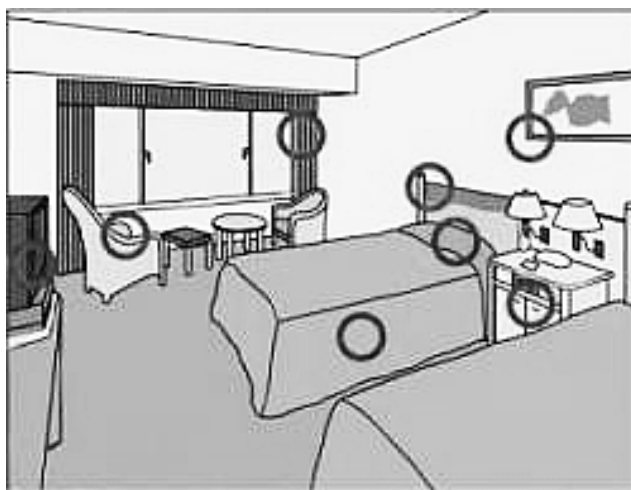
一番多いのは、寝室です。扁平なため、わずかな隙間にも侵入でき、寝る場所周辺の暗くて狭い場所にひそみます。またおなじところにとどまらず、エサを求めて移動します。

潜んでいる場所の近くには血糞と言われるシミが多く見られるため、目印になります。



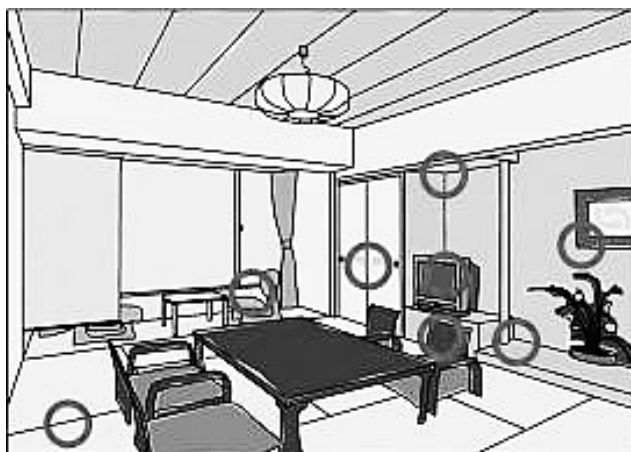
黒い斑点状の糞のシミ跡 文献1)より

例としては、ベッド、マットレスの間、畳の下、床・柱・天井・壁のすき間、カーテン、壁にかけられた額・鏡の裏側、はがれた壁紙の裏、カーペットの下、電化製品の内部、タンス・棚、段ボールや紙のすき間などです。



ひそんでいる場所の例1

文献1)より



ひそんでいる場所の例2

文献1)より

世界中に広がった理由

多くの原因が関与していますが、特に近年の人・物の世界規模での交流、海外旅行、ビジネス出張の増加によるものです。卵や幼虫が荷物に付着して世界規模に拡大しました。

第二次大戦後の日本には広くまん延していましたが、DDTや効力のある薬剤により、1960年代中頃には日本中からすっかりいなくなりました。効力のある薬剤がなくなったことや、広く使用されているピレスロイド系殺虫剤に抵抗性を持ったトコジラミが増え、駆除が困難になったことも原因です。防除の専門家もトコジラミを知らない世代になり、その防除技術も消滅していました。このような各種の原因によって2000年に入って世界の先進国で再興が始まったと考えられています。

早期発見、早期駆除

もし発見したら、迷わず専門業者に依頼して駆除しましょう。また、しっかりと発生場所・状況などを把握し、施設全体で一斉に対策を行いましょ。いったん生息が拡大すると駆除はさらに困難になります。

対策例

- ・ 隅々まで掃除機を使用するなど、きめ細かな清掃を行いましょ。
- ・ すき間を埋め、潜むことができる場所をなくしましょ。
- ・ フンによる汚れを目印として、潜んでいる場所にノズルのついたエアゾール剤や有機リン系殺虫剤を使うとよいでしょう。さらに1週間～10日後にもう一度処理するとより効果的です。(市販の殺虫剤では効きにくい場合があります)。
- ・ くん煙剤は、隣の部屋などに逃げ込んで被害が拡大することがあるため、使用しないようにしましょ。
- ・ 発見した部屋のもは、駆除が終わるまで別の部屋に持ち込むことのないようにしましょ。
- ・ 寝具類、カーテンなどは、乾燥機の使用やスチーム・熱湯などによる熱処理をしましょ。
- ・ 個人で対応できない場合など、被害が広がる前にすぐ専門業者などに駆除を依頼しましょ。

【 参考文献 】

- 1) 札幌市ホームページ：
http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f3seikatu/f80mushi/2_juukyo/nankinmusi.html
- 2) 日本ペストコントロール協会、トコジラミ Q&A、
<http://www.pestcontrol.or.jp/Portals/0/resources/pdf/2012tokojiramipanhu.pdf>